

浜岡原子力発電所 1～5号機 緊急時対策支援システム(ERSS)への
データ伝送停止について
(続報:原因調査の結果と伝送の再開)

2022年9月12日

当社は、浜岡原子力発電所 1～5号機における、原子力規制庁の緊急時対策支援システム(以下、「ERSS」という。)(注1)へのデータ伝送停止(2022年8月8日お知らせ済)について、原因調査を実施し、伝送を再開したことから、お知らせします。

事象の概要	当社は、2022年8月8日、午前5時40分頃からERSSへのデータ伝送ができなくなっていた伝送システムの点検を完了し、本日、データ伝送を再開しました。 なお、伝送停止中もERSSへ伝送要求のあるパラメータについては監視できており、代替措置により、原子力規制庁への定期的な報告をしていました。
原因調査の結果	伝送システムはデータの保存処理と伝送処理を同時におこない、片方の処理に異常が発生すると、もう一方の処理が停止する仕組みとなっていました。 伝送システムの点検を実施した結果、データの保存処理をおこなうためのデータファイルが破損し、これによってデータの保存処理に異常が発生したため、伝送処理が停止したものと推定しました。
今後の対応	破損したデータファイルを復旧し、データ伝送を再開しました。 再発防止として、伝送システムのソフトウェアを改修し、データの保存処理に異常が発生した場合においても、伝送処理を継続しておこなえるようにしました。

注1 緊急時対策支援システム(ERSS:Emergency Response Support System)とは、原子力施設から常時伝送されるプラントパラメータ情報を受け、原子力施設の状況を把握するための原子力規制庁のシステム。

以上